

平成28年度食の安心・安全アンケート調査結果について

1 調査の概要

(1) 目的

府民の食の安心・安全に係る意識を把握し、京都府における食の安全や信頼性の確保の推進に資する。

(2) 調査対象

一般府民及び京都府広報モニター

(3) 調査方法

インターネット調査

(4) 実施期間

平成29年3月1日～3月31日

(5) 有効回答数

386名（内 京都府広報モニター 320名）

(6) 調査項目

- ①食品の安全に対する関心
- ②食品の安全について特に関心を持っていること
- ③食品の安全に関する情報源
- ④食品の安全について考慮すること
- ⑤京都府がさらに強化すべき取組
- ⑥食品の安全に関する意見・要望

【京都府広報モニター】

趣 旨 府民参加による開かれた府政の推進を目的として、府が行う広報活動についてアンケート調査を実施し、府政運営の参考とする。

活動内容 府が行う広報活動に対する、インターネットを利用したアンケート調査への回答など（年12回程度）

2 回答者の属性

区 分		回答数	%
全 体		386	100
性別	男性	121	31
	女性	265	69
年代別	20 代以下	19	5
	30 代	82	21
	40 代	101	26
	50 代	64	17
	60 代	73	19
	70 代以上	47	12
居住地域別※	京都地域	191	51
	山城地域	134	35
	南丹地域	27	7
	中丹地域	25	6
	丹後地域	5	1

※ 京都地域：京都市、向日市、長岡京市、大山崎町

山城地域：宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、
宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村

南丹地域：亀岡市、南丹市、京丹波町

中丹地域：福知山市、舞鶴市、綾部市

丹後地域：宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町

3 調査結果

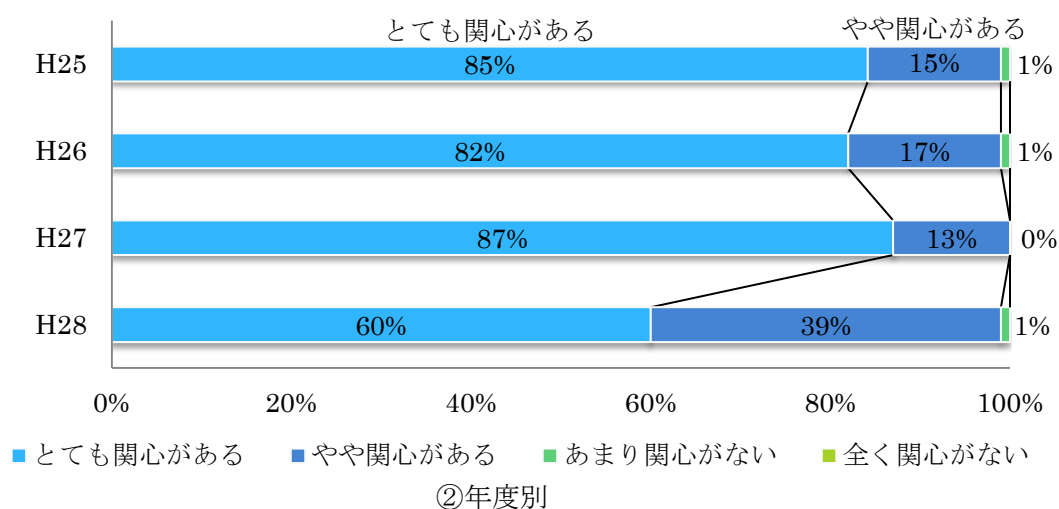
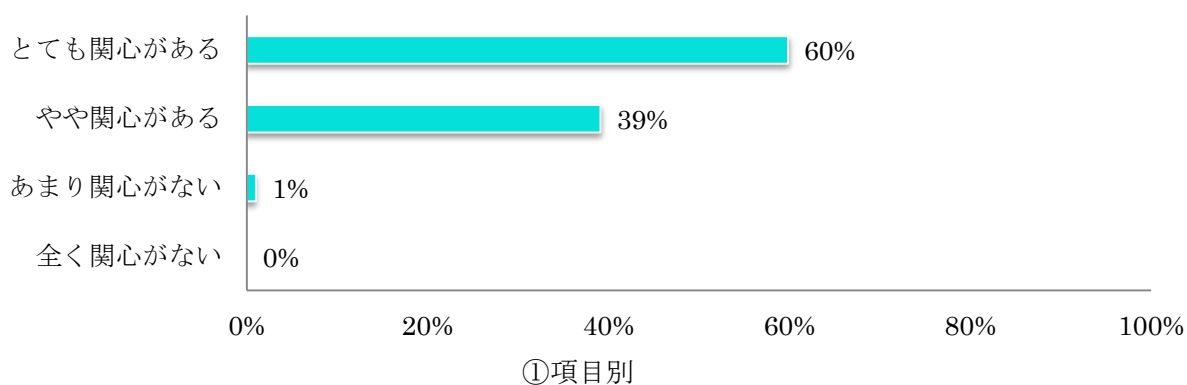
問1 日常生活を取り巻く安全の分野には、自然災害、犯罪、交通安全、環境問題など様々なものがあります。

あなたは食品の安全について関心はありますか。次の中から1つ選んでください。ウ、エを選んだ方はその理由もお書きください。

回答内容	回答数	%
全 体	386	100
とても関心がある	231	60
やや関心がある	151	39
あまり関心がない	4	1
全く関心がない	0	0

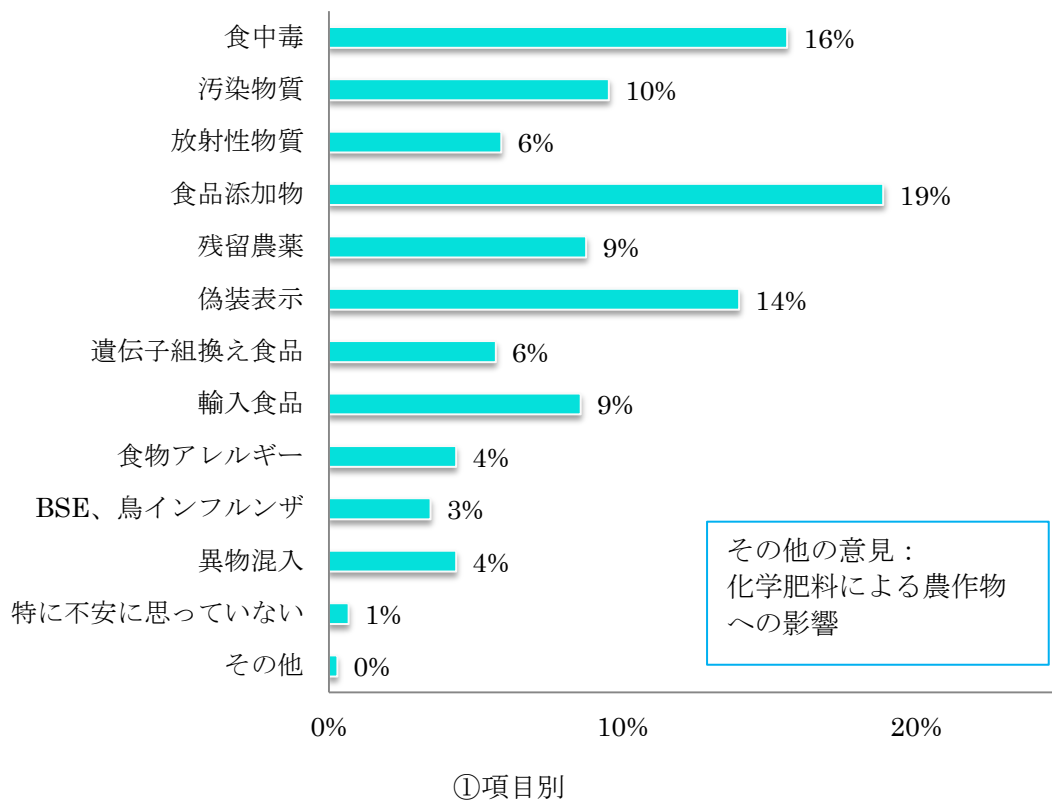
「あまり関心がない」と回答した理由：

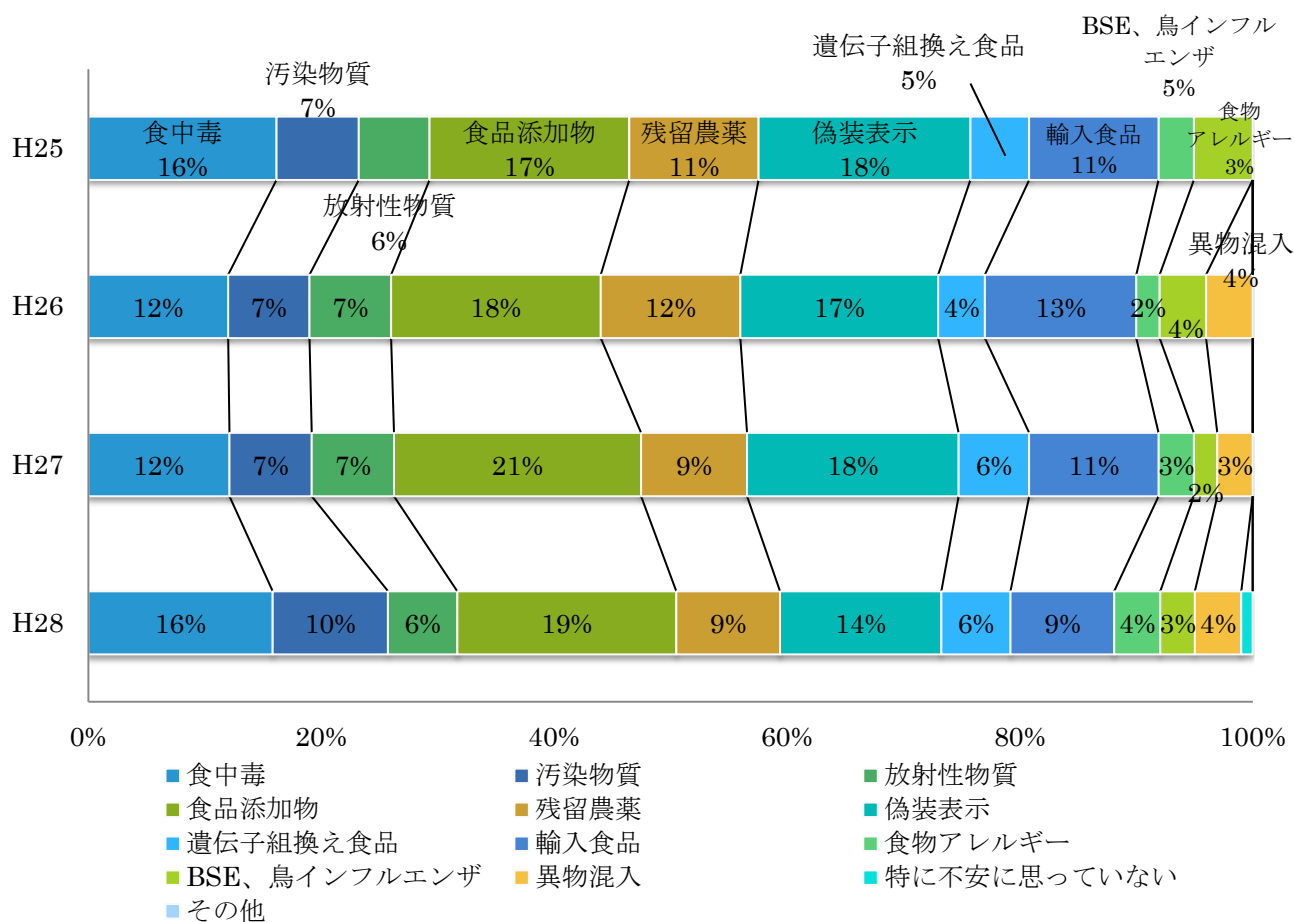
- ・今更気をつけても…って感じです
- ・普段は食費を安く抑えることを第一優先にしているから
- ・日本の食品を信頼しているから
- ・安全・安心に対して過敏になりすぎず、冷静に対処する必要があると思うので



問2 食品の安全について、あなたが特に関心をもっていることは何ですか。
次の中から**3つまで**選んでください。

回答内容	回答数	%
全 体	1038	100
食中毒（O-157、ノロウイルスなど）	162	16
汚染物質（メチル水銀、カドミウムなど）	99	10
食品中の放射性物質（放射性セシウムなど）	61	6
食品添加物	196	19
残留農薬	91	9
偽装表示（産地、原材料、賞味期限など）	145	14
遺伝子組換え食品	59	6
輸入食品	89	9
食物アレルギー	45	4
BSE（牛海綿状脳症）、鳥インフルエンザ	36	3
食品への異物混入	45	4
特に不安に思っていない	7	1
その他	3	0

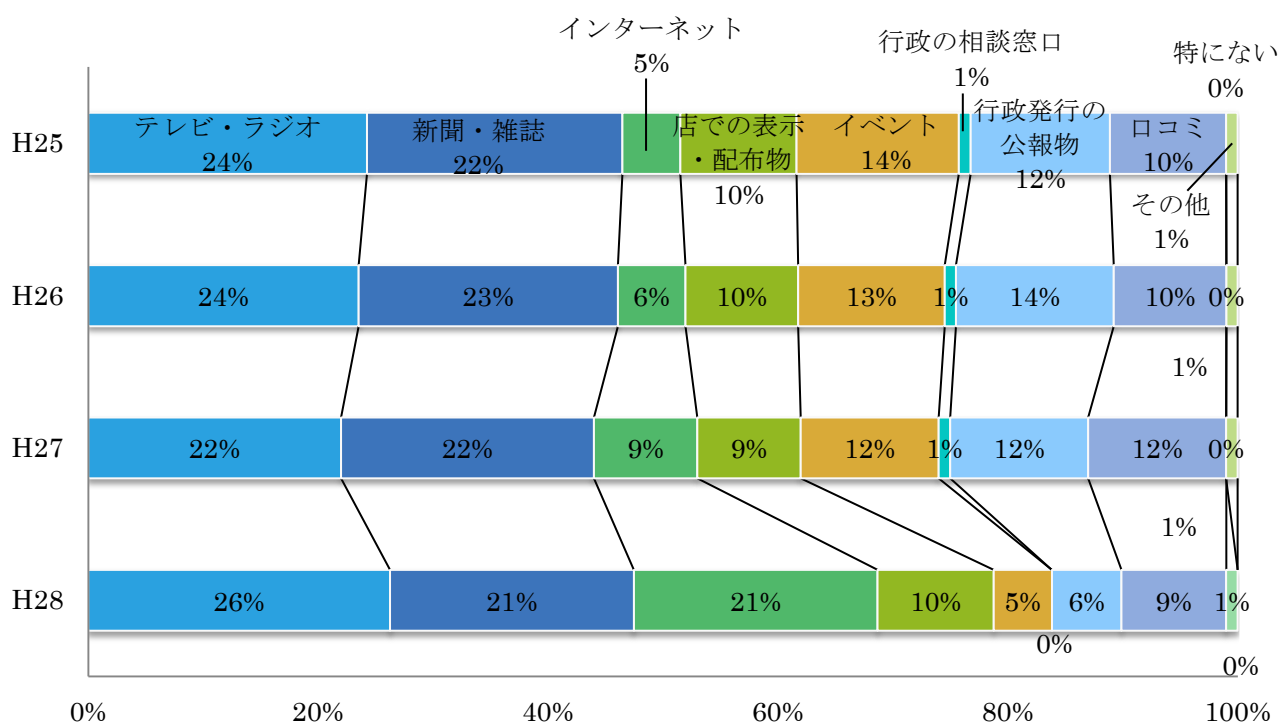
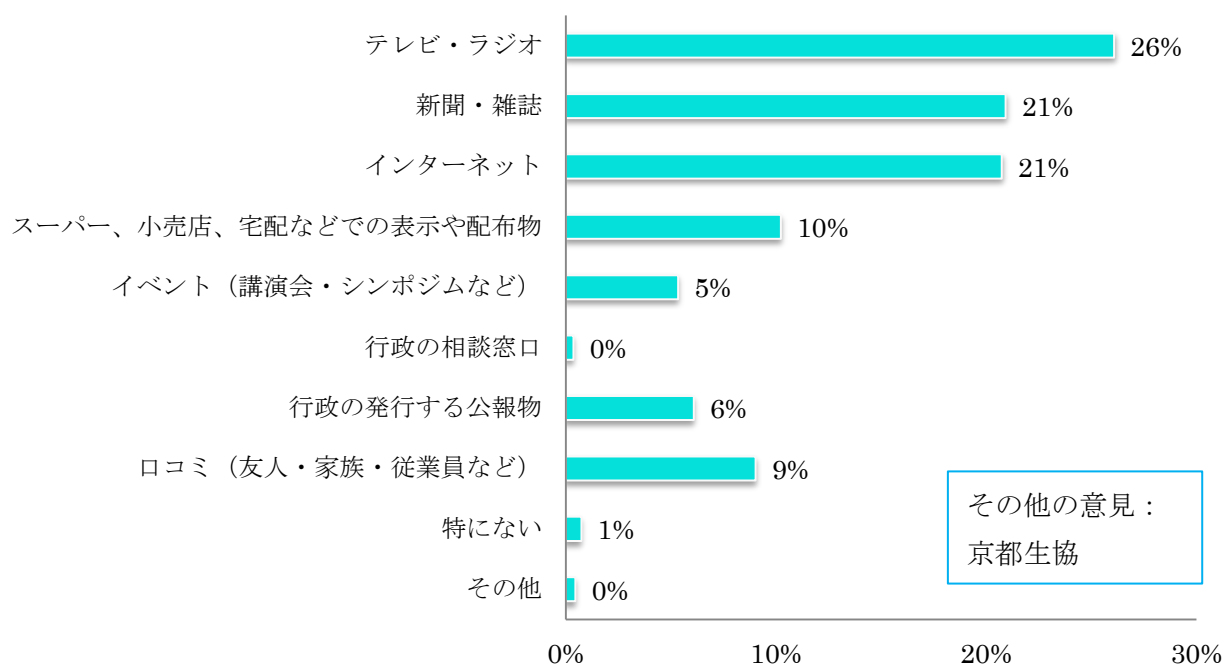




②年度別

問3 あなたは、食品の安全の情報について、どこから得ることが多いですか。
次の中からいくつでも選んでください。

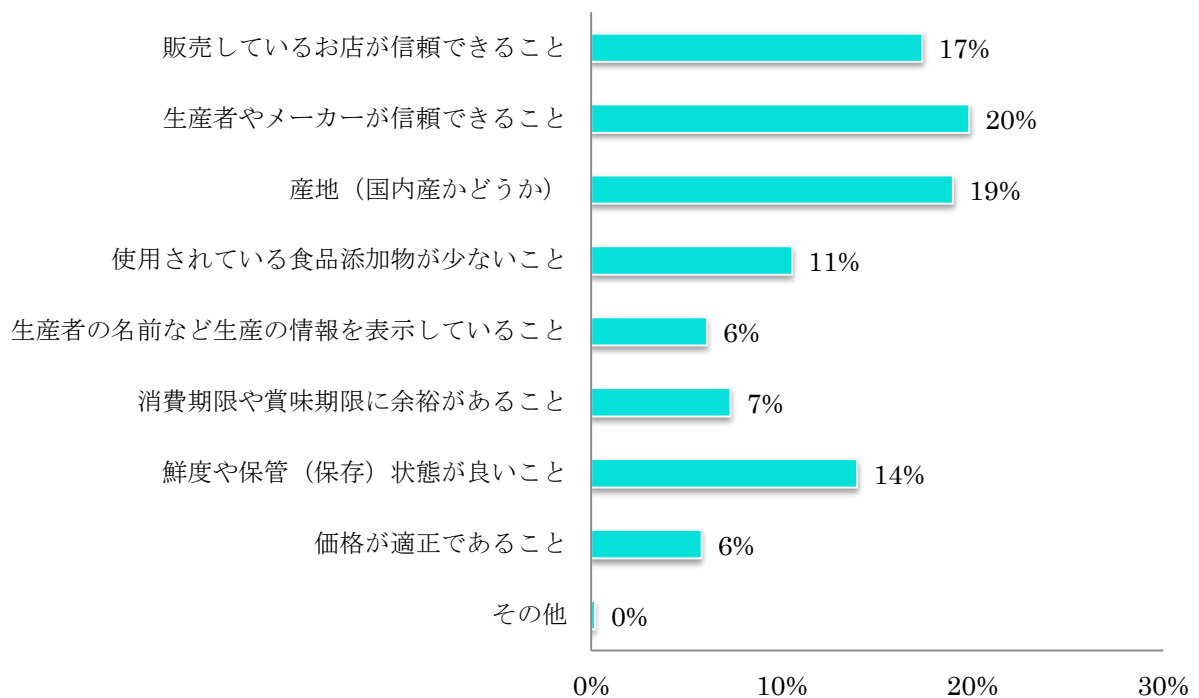
回答内容	回答数	%
全 体	1085	100
テレビ・ラジオ	283	26
新聞・雑誌	227	21
インターネット	225	21
スーパーや小売店、宅配などでの表示や配布物	111	10
講演会・シンポジウムなどのイベント	58	5
行政の相談窓口	4	0
行政の発行する広報物	66	6
口コミ（友人・家族・従業員など）	98	9
特にない	8	1
その他	5	0



- テレビ・ラジオ
- 新聞・雑誌
- インターネット
- スーパー、小売店、宅配などでの表示や配布物
- イベント（講演会・シンポジウムなど）
- 行政の相談窓口
- 行政の発行する公報物
- 口コミ（友人・家族・従業員など）
- 特にない
- その他

問4 あなたは、食品を購入する時に、食品の安全についてどのような点を考慮していますか。次の中から**3つまで**選んでください。

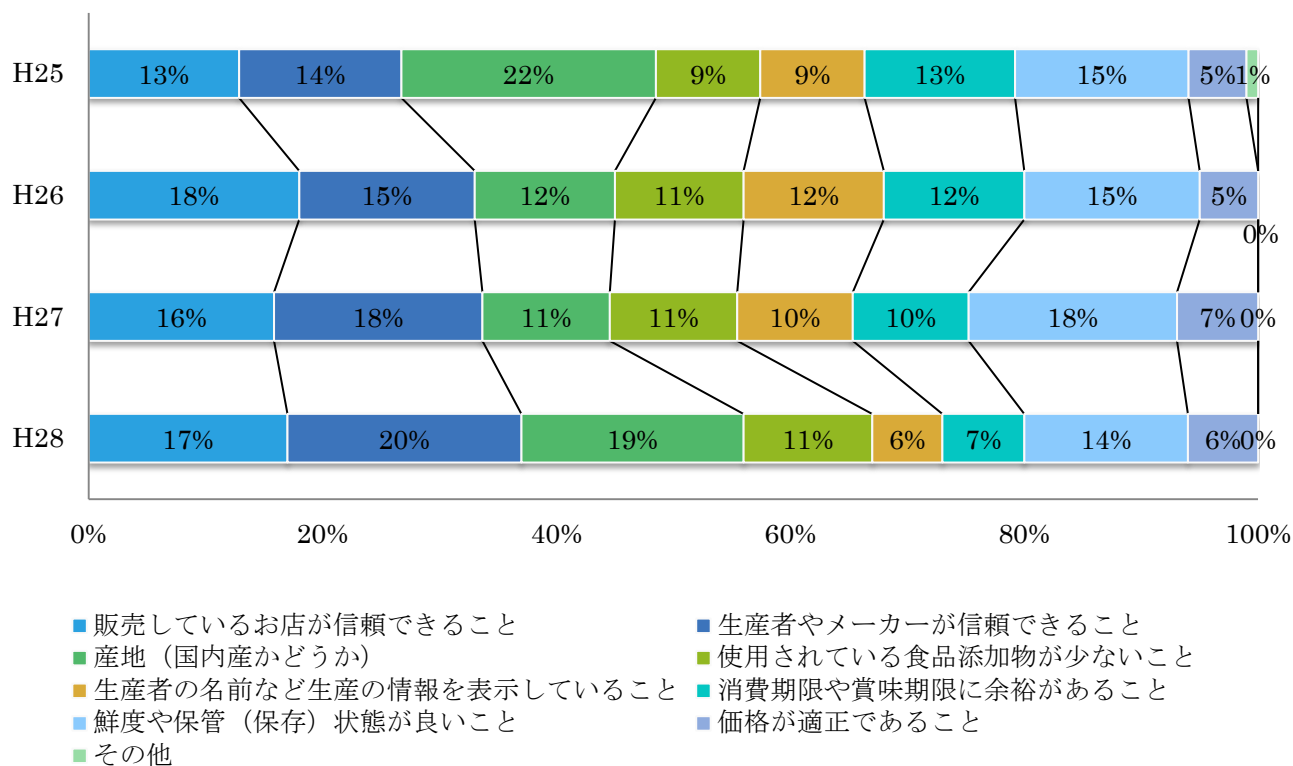
回答内容	回答数	%
全 体	1054	100
販売しているお店が信頼できること	183	17
生産者やメーカーが信頼できること	209	20
産地	200	19
使用されている食品添加物が少ないこと	111	11
生産者の名前など生産の情報を表示していること	64	6
消費期限や賞味期限に余裕があること	77	7
鮮度や保管（保存）状態が良いこと	147	14
価格が適正であること	61	6
その他	2	0



①項目別

その他の意見：

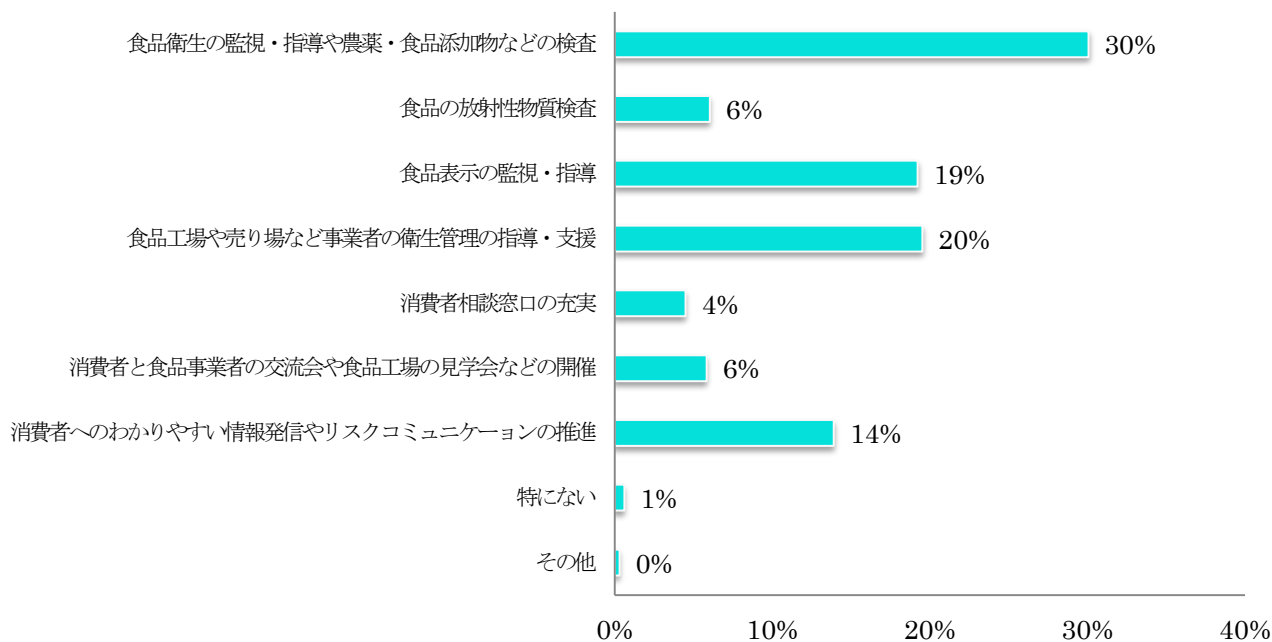
安全を明確に示す根拠と基準がはっきりしていない現状に問題を感じている



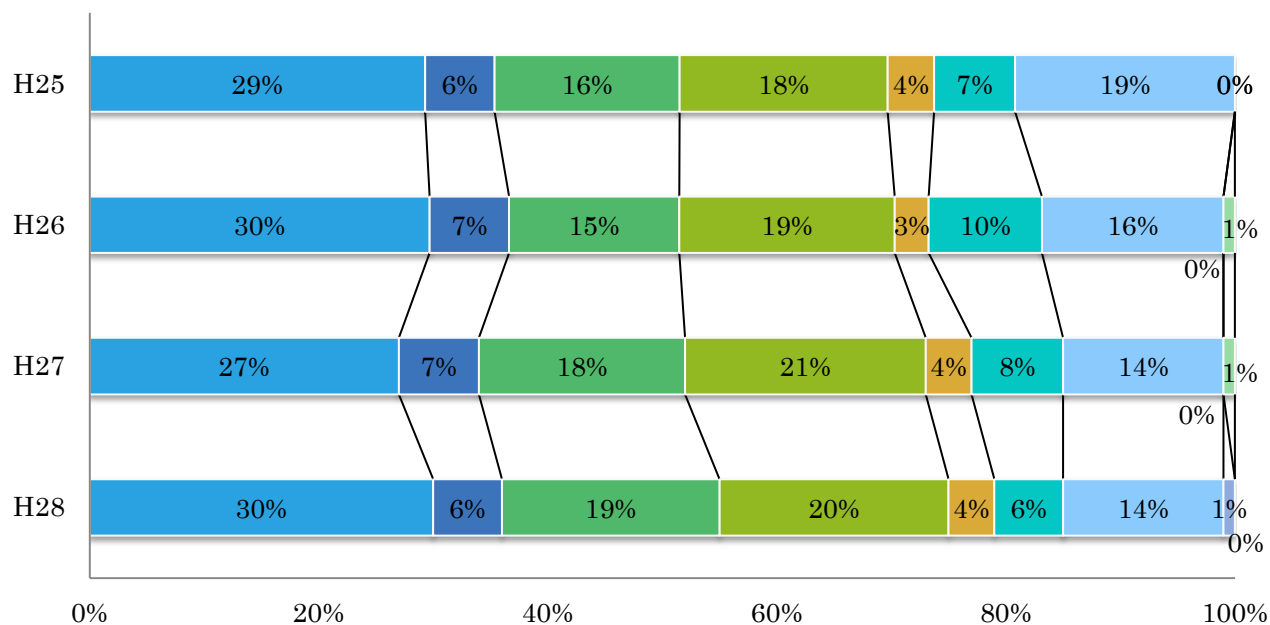
②年度別

問5 食品の安全を高めるために、京都府がさらに強化すべき取組は何だと思いますか。次の中から**3つまで**選んでください。

回答内容	回答数	%
全 体	1054	100
食品衛生の監視・指導や農薬・食品添加物などの検査	294	30
食品の放射性物質検査	59	6
食品表示の監視・指導	188	19
食品工場や売り場など事業者の衛生管理の指導・支援	191	20
消費者相談窓口の充実	44	4
消費者と食品事業者の交流会や食品工場の見学会などの開催	57	6
消費者へのわかりやすい情報発信やリスクコミュニケーションの推進	136	14
特にない	6	1
その他	3	0



①項目別



- 食品衛生の監視・指導や農薬・食品添加物などの検査
- 食品の放射性物質検査
- 食品表示の監視・指導
- 食品工場や売り場など事業者の衛生管理の指導・支援
- 消費者相談窓口の充実
- 消費者と食品事業者の交流会や食品工場の見学会などの開催
- 消費者へのわかりやすい情報発信やリスクコミュニケーションの推進
- 特になし
- その他

②年度別

問6 食の安全について、ご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

- 販売する人、作る人がいる。どうしてこのコロッケがこの価格で手に入るのか、考えればわかるはずだが、価格だけで購入してしまう。マルシェが流行っているが、もう一押し「食べること」からだけでは見えてこない「作り手」の声や気持ちを交換できるような場が必要だと思う。そのためには「食べ手」「作り手」の間に NPO やグループが必要かもしれない。府民力推進課ナレッヂ DIY の取り組みを、こちらの分野に広げて何かできないか。
- 学校で食用加工油脂はあまり良くないと聞いている。規制する方がよい。
- 獣肉(イノシシやシカ)は安全か。商店を経由しない自家製野菜や海産物などいただく機会も多いが、問題点や留意すべきことがあるか。
- 私たちは売られている製品でしか現状を知ることができず、生産、保管、運搬は業者を信用するしかない。以前スーパーでじゃがいもを購入したとき、見た目は大丈夫だったが、調理をして食べてみると、土カビ臭く、食べられたものではなかった。常に湿気たところに置いてあったか、保管状態が悪くなかったものと思われる。それは、表示ではわからない。消費者を裏切る行為だけはしてほしくない。行政は抜き打ちで倉庫を見に行く等してほしい。
- 食中毒の発生の情報、注意喚起など、具体的な報道を徹底してほしい。
- 啓発が足りないと思う。
- 日本の食の安心・安全の大部分は問題ないが、ごくまれに食品事故や不心得な業者により脅かされることがある。
- 食品のごく小さなリスクを撲滅することは難しいが、行政の地道な努力と消費者の目といった従来からの手段が大切。京都府をはじめとする行政の努力を引き続きよろしくお願いします。
- 産地、炭水化物、遺伝子組換えなどの表示を細かく正確にしてほしい。
- 居住地近辺での研修会の開催を望む。
- アメリカのトランプ大統領が日本に無理難題を言いそう。
- 食の安全・安心を守ってほしいです！！
- 食の安心・安全は間口も奥行きも際限なく広がる難しい問題だが、一人の消費者として考えると、生産、流通、販売に関わる全ての人々が、その重要性を認識することが大切だと思う。少数の不注意が重大な結果を呼び、引いては企業の存続にまで影響を及ぼすことがあることを自覚していただけると、消費者は安心して購入できる。
- 輸入食品は安く、品質が悪いイメージがあるが、品質で一番注意しなければいけないことは何か。
- 人が生きて行くために大切なこと、それは平和と健康であることだと思う。
- 健康のために、毎日3回の食事は一番の関心事。直接口から身体に入るものですから、本当はもっと知らなくては…と思っている。
- 加工食品にも原材料の生産地などの情報がわかるようにしてほしい。
- 産地が「日本」であっても最近は信頼できなくなっている。生産国や加工国が「中国」は極力避けるようにしているが、ウナギなどは国産でも信頼できない気がしている。利益の追求も必要だが、食品には良心が必要である。そのような気概が失われつつあるのが残念で、ますます注意が必要だと感じる。食の安心・安全には行政も十分注力願いたい。

- 回収商品の写真を添付してほしい。新聞を取っていない消費者も多くなってきたので、工夫が必要では。
- 食の安全の問題は大きな社会問題に発展するので、国、自治体、関係省庁は問題の捉え方を見直し、社会に対する分かりやすい情報提供を行うべきだと思う。
- 直売所や露店で販売されている食品は安全かどうか分からないので、販売店に何らかの表示をすることを義務付けてほしい。
- 消費者が正しい知識を得られるよう、広報してほしい。
- 食品偽装等が発生した際には、公共団体の責任において、違反や虚偽内容を直ちに公表するとともに、業者には是正措置の PDCA を作成させ、改善状況を厳しくチェックする管理体制を確立することが急務だと思う。
- 食の安全については、今後ますます消費者の関心が高まるとされる。そうしたニーズに的確に対応できる行政システムの実現が喫緊の課題である。そのためには、現場に最も近い消費者の情報や協力が必要だと思う。官民合わせての協力体制構築をお願いする。
- 農薬や食品添加物は基準値以下で安全といわれるが、本当に安全なのか不安。無農薬野菜や無添加食品の情報があれば助かる。